

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	英文読解Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0040		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	物質化学工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	「Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test」 桐原書店、Mark D. Stafford著						
担当教員	神澤 和明						
到達目標							
1. 豊富な語彙力を身につけ、TOEICレベルの内容の英文を、辞書を使わずに理解できる。 2. 英語文法を十分に理解し、リーディング問題を正しく解答することができる。 3. リスニング問題の特徴を理解し、正しく解答することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
語彙力	豊富な語彙力を身につけ、TOEICレベルの内容の英文を、辞書を使わずに理解できる。		ある程度の語彙力があり、TOEICレベルの内容の英文もおおむね理解することができる。		英語の語彙力が乏しく、TOEICレベルの内容の英文を理解するのが困難である。		
読解力	英語文法を十分に理解し、リーディング問題で高得点を獲得できる。		英語文法についてある程度の知識があり、問題文の内容をおおむね理解することができる。		英語文法の理解が不十分で、リーディング問題を正しく解答することができない。		
聴解力	リスニング問題の特徴を理解し、正しく解答することができる。		リスニング問題の特徴を理解し、話題の内容もおおむね理解することができる。		リスニング問題の特徴を十分に理解していないため、正しく解答することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程（本科1～5年）学習教育目標 （3）							
教育方法等							
概要	学生が高等教育終了後、社会生活するうえで、英語力の指標にTOEICのスコアが重要視されている。本講義では、TOEIC対策として不可欠な語彙力および文法力をつけながらリーディング・ストラテジーを身につける。また、TOEICレベルの内容の英文を理解できるリスニング力を身につける。						
授業の進め方・方法	TOEIC対策の実践形式の問題を扱いながら、語彙力・文法・読解・聴解力を伸ばす学習活動を行う。また、学習内容の定着を図るための小テストや語彙力増強のための単語テストを随時実施する。						
注意点	関連科目：英語Ⅳ 学習指針：TOEIC対策の実践問題を取り扱うが、日常生活やコミュニケーションに役立つ表現も多いので、1つでも多く英語での自己表現の方法を蓄積していくことが重要である。 自己学習：到達目標を達成するためには、授業以外にも予習復習を怠らないように、また、図書館にある問題集などを活用し、積極的に自学・自習を行うこと。						
学修単位の履修上の注意							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Unit1: Reading Section		TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。品詞の区別について正確に理解する。		
		2週	Unit1: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		3週	Unit2: Reading Section		TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。Eメール形式の読解問題の特徴について理解する。		
		4週	Unit2: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		5週	Unit3: Reading Section		TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。代名詞について理解を深める。		
		6週	Unit3: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		7週	前期中間試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		
		8週	試験返却・解答・復習		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		
	2ndQ	9週	Unit4: Reading Section		TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。		
		10週	Unit4: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		11週	Unit5: Reading Section		TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。動詞の形について理解を深める。		
		12週	Unit5: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		13週	Unit6: Reading Section		TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。手紙形式の読解問題の特徴について理解する。		
		14週	Unit6: Listening Section		TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。		
		15週	前期期末試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。		
		16週	試験返却・解答・復習		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。		

後期	3rdQ	1週	Unit7: Reading Section	TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。テキストメッセージ形式の読解問題の特徴について理解する。
		2週	Unit7: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		3週	Unit8: Reading Section	TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。記事形式の読解問題の特徴について理解する。
		4週	Unit8: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		5週	Unit9: Reading Section	TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。接続詞について理解を深める。
		6週	Unit9: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		7週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		8週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。
	4thQ	9週	Unit10: Reading Section	TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。広告形式の読解問題の特徴について理解する。
		10週	Unit10: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		11週	Unit11: Reading Section	TOEIC Part5,7形式の問題を、正しく解答することができる。時制について理解を深める。
		12週	Unit11: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		13週	Unit12: Reading Section	TOEIC Part6,7形式の問題を、正しく解答することができる。記事形式の読解問題の特徴について理解を深める。
		14週	Unit12: Listening Section	TOEIC Part1-4形式のリスニング問題を、正しく解答することができる。
		15週	学年末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		16週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後8,後9,後11,後13,後15,後16
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後8,後9,後11,後13,後15,後16
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後8,後9,後11,後13,後15,後16
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後8,後9,後11,後13,後15,後16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前2,前4,前6,前10,前12,前14,後2,後4,後6,後10,後12,後14
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	

				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前11,前13,前15,後1,後3,後5,後7,後8,後9,後11,後13,後15,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	
評価割合						
	定期試験	提出物の完成度	小テスト	合計		
総合評価割合	60	20	20	100		
基礎的能力	60	20	20	100		